

＜学位申請提出書類チェックリスト＞

氏名	鶴舞 花子
㊟・否	受理審議が実施される大学院係教授会(13:30～)への指導教員(原則:教授のこと)の出席可否

※ 提出漏れがないかチェック(✓)を入れ、学位申請当日に提出書類とあわせてご提出ください。

※「研究発表会の有効期限切れ」もしくは「研究テーマの変更による再発表」該当者は、申請要領のとおり、学位申請書類の提出前に、予備審査発表会を実施し、可と判断された「予備審査発表会実施結果」の提出が必要です。

チェック欄	提出書類	確認事項
✓	主論文1部(主著の英文の論文)	最新バージョンで提出してください。 ・別刷りがある場合は別刷り ・別刷りがない場合はPublishされた論文のPDFを印刷したもの。(両面印刷可) ・著者最終原稿の場合はWord本文と図表や説明文を印刷したもの。(両面印刷可) タイトルページ余白に和訳タイトル、全著者の和名を貼付してください。 (履歴表の該当部分を縮小印刷し、和訳タイトル、全著者の和名の部分を切り取って、そのまま主論文に糊で貼り付けてください。)
✓	掲載予定証明書またはアクセプトメール (Webや雑誌に論文が未公表の場合のみ)	既に公表済みの方は不要です。
✓	主論文の要旨1部 (生協印刷部で校正を依頼し、レイアウトが整ったPDFを印刷したもの) 生協印刷部で作成したことを証明する書類 (生協印刷部にて発行)	※校正の依頼前に必ず指導教員に内容を確認していただくようにしてください。 【表紙】 ・学位論文の題目は大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃えてください。 ・専攻、講座、専門分野名はHPの一覧で確認してください。 ・氏名は、戸籍抄本の氏名です。旧字体に注意してください。 ・留学生は自国証明書の氏名にしてください。(大文字・小文字・氏名順) 【本文】 ・FigureとTableを除いて日本語は(MS明朝 10.5ポイント)英数字は(Times New Roman またはCentury)で、2000字～3000字、(38字×38字)A4で2ページ強になります。 ・留学生は英語可(Times New RomanまたはCentury)で800～1200wordsです。 ・緒言～結語で順序立てて作成してください。 ・FigureとTableは本文の次のページから始めて、本文を説明するのに必要な分のみ載せるようにしてください。 ・Legendの位置 Figure(下)、Table(上)で作成してください。 ・Referenceは不要です。
✓	学位申請書	申請者の押印、指導教授印(教授または代理教授不在の分野は准教授印)が必要です。
✓	履歴書5-1	・氏名は、戸籍抄本の氏名です。旧字体に注意してください。 ・留学生は自国証明書の氏名です。大文字・小文字・氏名順に注意してください。
✓	履歴書5-2	・学位論文の題目は大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃えてください。 ・学位論文題目の日本語訳は、主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。
✓	論文目録	
✓	履歴表	最新のインパクトファクターの数値を4. 公表の最後に入力してください。 インパクトファクターが無い場合は、IF:なし(2000年創刊)と記入してください。
✓	博士論文のインターネット公表確認書(別紙6)	公表可能時期に条件がある場合は【全文の公表の保留を希望】、 公表不可の場合は【要約の公表を希望】を選択し、事由を記載してください。
✓	別紙6公表可否に関する裏付資料(メール文 またはHPの著作権ポリシーのプリントアウト)	根拠となる該当部分に、蛍光ペン等でラインを引いた上で提出してください。
✓	学位論文に関する情報開示(別紙8)	Yes,Noはプルダウン形式になっています。 指導教員(原則、指導教授)の自署・押印が必要です。
✓	PubMedのMEDLINE および Web of ScienceのSCI,SCIE掲載誌 であることの裏付(各1枚)	HPの検索方法に従い、指定の画面を印刷の上、該当部分に蛍光ペン等でラインを引いた上で提出してください。
以下、副論文または参考論文がある場合のみ。副論文、参考論文がない場合には提出不要。		
✓	副論文1部 研究内容が主論文と直接関係あるもの	最新バージョンで提出してください。 ・別刷りがある場合は別刷り ・別刷りがない場合はPublishされた論文のPDFを印刷したもの。(両面印刷可) ・著者最終原稿の場合はWord原稿を印刷したもの。(両面印刷可)
	参考論文1部 研究内容が主論文と直接関係がないもの	最新バージョンで提出してください。 ・別刷りがある場合は別刷り ・別刷りがない場合はPublishされた論文のPDFを印刷したもの。(両面印刷可) ・著者最終原稿の場合はWord原稿を印刷したもの。(両面印刷可)
以下、留学生の場合のみ。日本人学生は提出不要。		
	パスポートの写(コピー)	
	自国で発行された卒業証明書	

主論文の要旨

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

※ 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える

日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連

※ 全ての書類の日本語訳について、こちらと同題目にしてください。

2013年度以降の入学者は全員、総合医学専攻です。

専攻名、講座名、分野名は入学年度のシラバスで確認してください。

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻
病態内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野

原則、指導教授(教授、または代理教授。不在の場合は准教授 → (指導 : ○○ ○○ 教授) または特命教授)

- ・分子細胞学 ⇒木山博資 教授
- ・国際保健医療学・公衆衛生学 ⇒平川仁尚 准教授
- ・精神病理学・精神療法学(精神健康医学) ⇒古橋忠晃 准教授
- ・細胞腫瘍学 ⇒松尾恵太郎 教授
- ・呼吸器内科学⇒橋本直純 准教授
- ・消化器外科学、移植・内分泌外科学 ⇒小池聖彦 特命教授
- ・呼吸器外科学⇒碓井章彦 教授

鶴舞 花子 ←戸籍抄本の氏名 旧字体に注意

留学生は自国で発行された卒業証明書のとおりに記載のこと

様式及び記入例

※申請当日の年月日
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

医学系研究科長 殿

2013年度以降入学者は全員、
総合医学専攻です。
2016年度入学
専攻名 総合医学専攻
専門分野名 糖尿病・内分泌内科学
氏名 ふりがな 鶴舞 つるまい 花子 はなこ 

学 位 申 請 書

名古屋大学学位規程第2条の規定により、関係書類を添え申請いたします。

指導教員 承認印	
-------------	---

受付年月日	年 月 日
受付番号	第 号

※事務記入欄

報告番号	第	号
学位記番号	第	号
授与年月日	年	月 日

履 歴 書

ふりがな 氏 名	つるまい はなこ 鶴舞 花子	戸籍抄本の氏名 旧字体に注意 留学生は自国で発行された卒業証明書のとおり 記載すること 全ての書類で同じ表記にすること	
氏 名 (英字:Block capital)※2	姓(Surname) 姓は全て大文字 TSURUMAI	名(Given name) 名は最初の1文字のみ大文字 Hanako	(Middle name)
生年月日	1977 年 4 月 24 日生	プルダウン	性別 女 プルダウン
本 籍 地 (外国籍は国籍を記入)	愛知県 プルダウン		
現住所	名古屋市昭和区〇〇町1-2-3 自宅住所		
所属研究科名 (論文博士は論文提出研究科名)	医学系研究科		
所属専攻名 ※1	総合医学専攻 2013年度以降の入学者は全員、総合医学専攻		
修了(予定)または満期退 学年月日 ※1	2020 年 3 月 25 日 修了 プルダウン 修了、短縮修了、満期退学をプルダウンより選択		
学位論文題目	Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える		
学位論文題目翻訳 ※3	日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲン アクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連 主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。		
学位の種類	博士(医学)		
プログラム名 ※4	プルダウン		

※1 論文博士は記入不要

※2 英字氏名は、姓のみ全て大文字、後は最初の1字が大文字で残りを小文字で書くこと。

※3 論文題目が外国語の場合は、日本語訳を必ず記入すること。論文題目が日本語の場合で、研究科の指示がある場合は、英語訳を記入すること。

※4 リーディングプログラム修了(予定)者のみ記入すること。

報告番号※事務記入欄	第 号
氏 名	鶴舞 花子
<p>学歴(大学卒業以降、すべて記入すること)すべて西暦で記入してください。</p> <p>→ 31日卒業の大学は殆どないため卒業証明書などで必ずご確認ください。</p> <p>2010年3月25日 名古屋大学医学部医学科卒業</p> <p>2010年6月1日 大垣市民病院にて研修開始 学部卒業後の2年間の研修期間</p> <p>2012年3月31日 同修了</p> <p>2016年4月1日 名古屋大学大学院医学系研究科博士課程総合医学専攻入学</p> <p>2020年3月25日 同修了見込 2013年度以降入学者は全員、総合医学専攻です。</p>	
<p>研究歴 研究生として在学したことのある方は研究歴に記載してください。</p> <p>2012年4月1日 名古屋大学医学部研究生入学</p> <p>2013年3月31日 同終了 ※留学生は名古屋大学大学院医学系研究科大学院研究生入学</p>	
<p>職歴</p> <p>今現在までの職歴(常勤のみ)を全て記載してください。勤務先の機関名(会社名、病院名など)勤務 としてください。部、課、科や役職は不要です。</p> <p>→ 2年間の研修期間の続きから記載してください。</p> <p>2012年4月1日 大垣市民病院勤務</p> <p>2013年3月31日 同退職</p> <p>2013年4月1日 社会保険中京病院勤務</p> <p>2017年3月31日 同退職</p> <p>2017年4月1日 名古屋大学医学部附属病院勤務</p> <p>現在に至る</p>	

論 文 目 録

報 告 番 号	※ 甲 第	号	氏 名	鶴舞 花子
<p>主 論 文</p> <p>題 目 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える。 冊</p> <p>Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population</p> <p>主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。 (日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連)</p> <p>Gene Therapy 5巻3号 2020年2月 掲載予定 8枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投稿原稿の場合、又は最終形が出版であるがWeb掲載段階の場合⇒ 掲載予定 ・ 最終形がWeb版でWeb掲載されている場合⇒ 掲載 ・ 既に出版されている場合⇒ 発行 <p style="text-align: right;"> ・ 投稿原稿の場合は投稿原稿、又は最終形が出版の場合のWeb掲載論文を片面印刷した時の用紙の枚数(図表等を含む) ・ Web版が最終形でWeb掲載されている場合、もしくは出版されている場合は枚数の記入は不要 </p> <p>(既に印刷公表したのものについては、その方法及び年月日、未公表のものについては、公表の方法及び時期を記入すること)</p>				
<p>副 論 文 研究内容が主論文と直接関係あるもの 冊</p> <p>題 目</p> <p style="text-align: center;">(同 上)</p>				
<p>参 考 論 文 研究内容が主論文と直接関係がないもの 冊</p> <p>題 目</p> <p>Low-dose granulocyte colony-stimulating factor enables the efficient collection of peripheral blood stem cells after disease-oriented, conventional-dose chemotherapy for breast cancer, malignant lymphoma and germ cell tumor</p> <p>(低用量の顆粒球コロニー刺激因子は、乳癌、悪性リンパ腫および胚細胞腫瘍に対する疾患志向の通常量の化学療法後の十分量の末梢血幹細胞採取を可能にする)</p> <p>Bone Marrow Transplantation 15巻1号 2019年3月発行 英文雑誌の場合は西暦で 和文雑誌の場合は元号で記入</p> <p style="text-align: center;">(同 上)</p>				

※様式を崩さず入力してください。

論文提出者の履歴表（課程）

[予備審査2019年 6月終了]

研究発表会の年月を記入してください。数字は全角。
ルビでふりがな

1. 氏名 ^{つるまい} 鶴舞 ^{はなこ} 花子 （1977年__4月24日生）
※数字は全角、1桁の場合は全角スペース。
入学年度のシラバスで確認してください。
2. 専攻 総合医学専攻2013年度以降入学者は全員、総合医学専攻です。
病態内科学講座 糖尿病・内分泌内科学

3. 論文題目および著者名

英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃えてください。

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

主論文の要旨の日本語訳と一致させてください。

（日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型 Pro141Leu と血清脂質特性との有意な関連）

全角スペース 読点 ※漢字氏名がある場合は漢字。

鶴舞__花子、学務 次郎、李 梅花、名古屋 三郎、ジェームス シー スミス、
名大-愛知 桜子 ※英字氏名の場合はカタカナ

※論文で新姓・旧姓を記載している場合はその通りに記載。（ミドルネーム含む）

4. 公表 Gene Therapy 5巻3号 2020年2月掲載予定 8枚 IF:4.196

論文目録と一致させてください。数字は半角。 直近のインパクトファクターの数値

5. 指導教授 ○○○○原則、指導教授氏名(教授または代理教授不在の場合は准教授または特命教授氏名) 氏名の姓と名の間は詰めてください。（姓または名が1文字の場合のみ、姓と名の上に全角スペース。例：○○ ○、○ ○○○など）

6. 審査委員 (主) ○○○○__○○○○ ○○○○

教授氏名と教授氏名の間は全角スペース。

氏名の姓と名の書き方は5.と同じです。

7. 備考 2016年__4月 1日入学

2020年__3月25日修了見込

(休学期間：なし) 数字は全角、1桁の場合は全角スペース。

博士論文のインターネット公表確認書

2019年○月○日
 ※申請当日の年月日

名古屋大学大学院 医学系研究科長 殿

学位の区分	課程・論文	学位の種類	博士（ 医学 ）
学位授与 予定日	2020年 3月25日	学位記番号	※記入不要
ふりがな 氏名	つるまい はなこ 鶴舞 花子		 <small>(自署の場合は不要)</small>
学位取得後 の連絡先	住所：〒466-8550 名古屋市昭和区○○町1-2-3 電話：052-○○○-△△△ 携帯：090-○○○-△△△ Email：○○○@△△△△.××.jp		

※ 博士学位授与後に論文全体をインターネット利用により公表することについて、裏面の選択肢（【全文の公表が可能】，【全文の公表の保留を希望】，【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合））のいずれかの□にレ点チェックの上、博士学位授与申請に併せて提出してください。

＜留意事項＞

- ① 審査を行った研究科がやむを得ない事由があると認めた場合は、博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを名古屋大学学術機関リポジトリの利用により公表することになります。
 なお、出版刊行や学術ジャーナル等への掲載により公表に制約がかかる場合にあつては、公表が制約される時期が経過後に博士論文の全文を公表することになります。
- ② 博士論文の全文をインターネットで公表しない場合、又は、一定の期間を非公開とする場合であっても閲覧に供する必要があります。本学では、博士論文の電子データをもって本学附属図書館窓口にて閲覧に供することになります。
 また、国立国会図書館でも利用に供されます。
- ③ 学術ジャーナルへの掲載又は出版刊行等のため、インターネットでの公表に際し著作権処理が必要になる場合は、各自、適切に処理してください。

□【全文の公表が可能】

提出した博士論文（全文）について、公表することに問題はありません。

※ 全文の公表にあたり、出版社等から、例えば論文の体裁を変更する等の条件の指定がある場合は、その内容が分かる書類を併せて提出してください。

□【全文の公表の保留を希望】 ※ 保留期間中は要約を公表

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表の保留を希望し、保留期間中は要約を公表します。なお、下記事由の消滅等に伴う所定の届出書（様式：別紙7）については、自動的に公表となる場合を除き必ず提出いたします。

項目	事由	様式：別紙7の提出時期
□図書出版	□出版済み。出版社の著作権ポリシーを確認した結果、(年 月 日)まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	□出版予定(年 月 予定)で、出版社の著作権ポリシーを確認した結果、(出版後・ 年 月 日)まで公表することができない。	公表可能日(直後)
	□出版予定(年 月 予定)で、出版社の著作権ポリシーを確認することができない。	出版予定日又は出版日(直後)
□学術ジャーナル等への掲載	□掲載済み。出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、(年 月 日)まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	□掲載予定(年 月 予定)で、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、(掲載後・ 年 月 日)まで公表することができない。	公表可能日(直後)
	□掲載予定(年 月 予定)で、出版社等の著作権ポリシーを確認することができない。	掲載予定日又は掲載日(直後)
□特許・実用新案出願	□特許出願予定又は審査中(出願公開前) 出願(予定)： 年 月	出願公開日(直後)
	□実用新案出願予定又は審査中 出願(予定)： 年 月	登録日(直後)
□その他	(具体的な事由を記載)	事由の消滅日

■【要約の公表を希望】 (全文の公表ができない場合)

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表はできませんので、要約での公表を希望します。

(具体的な事由を記載してください)

出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、アクセプト原稿であれば出版の6ヵ月後に公表可能であるが、最終出版版である論文の全文公表は出来ない。本学位論文は最終出版版の論文であるため公表不可である。

- (記入例) ・図書出版や学術ジャーナル等への掲載において、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、全文での公表ができない。(出版社等の著作権ポリシーを明記した書類の添付が必要)
- ・博士論文が立体形状による表現等を含むためインターネットでの公表ができない。
 - ・秘匿すべき情報を含む又は公表することで重大な支障をきたす恐れがあるため。

Search - Publisher copyright policies & self-archiving

One journal found when searched for: **0028-0836**

Journal: **Nature** (ISSN: 0028-0836, EISSN: 1476-4687)

RoMEO: This is a RoMEO yellow journal

Author's Pre-print:  author can archive pre-print (ie pre-refereeing)

Author's Post-print:  subject to Restrictions below, author can archive post-print (ie final draft post-refereeing)

Restrictions:

- 6 months embargo

Publisher's Version/PDF:  author cannot archive publisher's version/PDF

General Conditions:

- Research articles only
- On author's personal website, institutional repository and funder designated repository
- Publisher's version/PDF cannot be used
- Authors retain copyright
- Must link to publisher version
- Published source must be acknowledged and DOI cited
- Post-prints are subject to Springer Nature re-use terms

Mandated OA: Compliance data is available for [24 funders](#)

Notes:

- Applies to Research articles only

Copyright: [Pre-print policy](#) - [Self-archiving policy](#) - [Post-print re-use terms](#)

Updated: 20-Sep-2018 - [Suggest an update for this record](#)

Link to this page: <http://sherpa.mimas.ac.uk/romeo/issn/0028-0836/>

Published by: [Nature Research](#) (part of Springer Nature) - [Yellow Policies in RoMEO](#)

This summary is for the journal's *default* policies, and changes or exceptions can often be negotiated by authors.
All information is correct to the best of our knowledge but should not be relied upon for legal advice.

こちらのサイトで、journalの著作権を確認することが可能ですが、正式にjournalが出しているものではないため、こちらで検索した結果を裏付資料としてご提出いただくことはできません。journalの著作権の方向性を確認する際の参考にご利用下さい。

Publishing licences and compliance with open access mandates

Nature Research author licence policy

This policy applies to all journals published by Nature Research, including *Nature* and the journals with "Nature" in their titles. Nature Research's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving policies. Please see [here](#) for exceptions.

Nature Research does not require authors of original (primary) research papers to assign the copyright of their published contributions. Authors grant Nature Research an exclusive licence to publish, in return for which they can reuse their papers in their future printed work without first requiring permission from the publisher of the journal.

For commissioned articles (for example, Reviews, News and Views), copyright is retained by Nature Research.

General information about licencing policies and re-use can be found at the [reprint and permission website](#).

Creative commons licences

Nature Research open access and hybrid journals

All open access articles published in Nature Research Journals are published under Creative Commons licences. Please see the licence section on individual journal websites for more information, for example: [Nature Communications](#) and [Scientific Reports](#).

For more information about open access licensing, please see our [open research site](#).

Nature Research journals

At Nature Research, we occasionally publish specific types of papers in our subscription journals under a Creative Commons licence. These include:

- articles that are publishing the reference sequence of an organism's genomes (or in the case of microorganisms, finished or draft genomes of novel taxa for which no previous genome sequence was available). A *Nature* Editorial introducing this service can be read [here](#).
- articles describing reporting and experimental standards, consensus statements and white papers presenting the roadmap of large community initiatives (policy introduced in April 2011)
- articles describing community experiments to compare the performance of software tools (policy introduced in November 2012)
- under exceptional circumstances, articles addressing important public health needs

The application of these licences is at the editor's discretion and for journals that do not have an open access option no article processing charge is applied. If you have questions about this type of content, please contact the journal's editor who will determine if the paper qualifies as part of one of these categories.

The licence used for OA articles in Nature Research subscription journals is CC BY 4.0. Our policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving policies. Please see [here](#) for exceptions.

Self-archiving policy

Nature Research's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving mandates.

More information is available on the [SHERPA/ROMEO website](#). Nature Research actively supports the self-archiving process, and continually works with authors, readers, subscribers and site-license holders to develop its policy.

Preprints

Nature Research journals support posting of primary research manuscripts on community preprint servers such as [arXiv](#) and [bioRxiv](#). Preprint posting is not considered prior publication and will not jeopardize consideration at Nature Research journals. Preprints will not be considered when determining the conceptual advance provided by a study under consideration at Nature Research. Authors posting preprints are asked to respect our policy on communications with the media (<http://www.nature.com/authors/policies/embargo.html>).

Our policy on posting and citation of preprints of primary research manuscripts is summarized below:

- The original submitted version of the manuscript (the version that has not undergone peer review) may be posted at any time. Authors should disclose details of preprint posting, including DOI, upon submission of the manuscript to a Nature Research journal.
- For subscription journals, the Author's Accepted Manuscript (authors' accepted version of the manuscript) of the manuscript may only be posted 6 months after the paper is published, consistent with our self-archiving embargo (<http://www.nature.com/authors/policies/license.html>). Please note that the Author's Accepted Manuscript may not be released under a Creative Commons license. For Nature Research's Terms of Reuse of archived manuscripts please see: <http://www.nature.com/authors/policies/license.html#terms>
- For subscription journals, the published PDF must not be posted on a preprint server or any other website. However, authors are encouraged to obtain a free SharedIt link of their paper, which can be posted online and allows read-only access. SharedIt links can be obtained by submitting the published article DOI at <http://authors.springernature.com/share>
- Preprints may be cited in the reference list as below:
babichev, S.A., Ries, J. Lvovsky, A.I. Quantum scissors: teleportation of single-mode optical states by means of a nonlocal single photon. Preprint at <http://arXiv.org/quant-ph/0208066> (2002).

Author's Accepted Manuscript

When a research paper is accepted for publication in an Nature Research journal, authors are encouraged to submit the Author's Accepted Manuscript to PubMedCentral or other appropriate funding body's archive, for public release six months after first publication. In addition, authors are encouraged to archive this version of the manuscript in their institution's repositories and, if they wish, on their personal websites, also six months after the original publication. Authors should cite the publication reference and **DOI number** on the first page of any deposited version, and provide a link from it to the URL of the published article on the journal's website.

Where journals publish content online ahead of publication in a print issue (known as advanced online publication, or AOP), authors may make the archived version openly available six months after first online publication (AOP).

Open access content

For open access content published under a Creative Commons licence, the published version can be deposited immediately on publication, alongside a link to the URL of the published article on the journal's website.

In all cases, the requirement to link to the journal's website is designed to protect the integrity and authenticity of the scientific record, with the online published version on nature.com clearly identified as the definitive version of record.

Manuscript deposition service

To facilitate self-archiving of **original research papers** and help authors fulfil funder and institutional mandates, Nature Research deposits manuscripts in PubMed Central, Europe PubMed Central and PubMed Central Canada on behalf of authors who opt-in to this free service during submission. (This service does not apply to Reviews or Protocols.)

More information on the [Nature Research's Manuscript Deposition Service](#) is available. To take advantage of this service, the corresponding author must opt-in during the manuscript submission process. Corresponding authors should be mindful of all co-authors' self-archiving requirements.

Springer Nature terms for use of archived author accepted manuscripts of subscription articles

For articles published within the Springer Nature group of companies that have been archived into academic repositories such as institutional repositories, PubMed Central and its mirror sites, where a Springer Nature company holds copyright, or an exclusive license to publish, users may view, print, copy, download and text and data-mine the content, for the purposes of academic research, subject always to the full conditions of use. Any further use is subject to permission from Springer Nature. The conditions of use are not intended to override, should any national law grant further rights to any user.

Conditions of use

Articles published within the Springer Nature group of companies which are made available through academic repositories remain subject to copyright. The following restrictions on use of such articles apply:

Academic research only

1. Archived content may only be used for academic research. Any content downloaded for text based experiments should be destroyed when the experiment is complete.

Use must not be for Commercial Purposes

2. Archived content may not be used for purposes that are intended for or directed towards commercial advantage or

学位論文に関する情報開示

記入例

2019年 11月 21日
※申請当日の年月日

1 専攻名 総合医学専攻

2 分野名 ●●●●●学

3 氏名 鶴舞 花子

4 学位論文

(例) Silverman BK, Brecks T, Craig J, Nadas AS. Congestive failure in the newborn caused by cerebral A-V fistula. Am J Dis Child, 1955; 89: 539-545. (全著者名, 論文タイトル, 雑誌詳細)

Tsurumai H, Brecks T, Craig J, Nadas AS. Significant association of *urokinase* plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population. *Gene Therapy*, 2020 Feb;5(3):539-545.

5 学位論文掲載誌はPubMedのMEDLINEに登録されていますか？(PMCのみはNoになります)

Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。

Year

Yes

(注) PubMedのMEDLINEの登録有無は<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentyindexed> 雑誌創刊年は<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>で検索できます。

6 学位論文掲載誌はWeb of ScienceのSCIもしくはSCIEに登録されていますか？(ESCIはNoになります)

Yesの場合、最新のインパクトファクターはいくつですか。

Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。

IF

Year

Yes

3.203

(注) Web of ScienceのSCIもしくはSCIEに登録された雑誌にはインパクトファクターが付きます。

SCI, SCIEの登録有無は<http://mjl.clarivate.com/cgi-bin/jrnlst/jlresults.cgi?PC=D&Alpha=A>で検索できます。

雑誌創刊年は<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>で検索できます。

7 学位申請者は単独の筆頭著者ですか？

Noの場合は、equal contributorsの貢献を具体的かつ詳細に記述してください。

Yes

8 学位論文のcontributorsの開示欄に、学位申請者が、論文もしくは論文ドラフトを書いたことが明示されていますか？

Noの場合、もしくは、contributorsの開示がない場合、学位申請者が論文執筆にどのような貢献をしたか具体的に記述してください。

No

学位申請者がこの研究に取り組み、主要なデータを探り、その研究成果をまとめて執筆した。